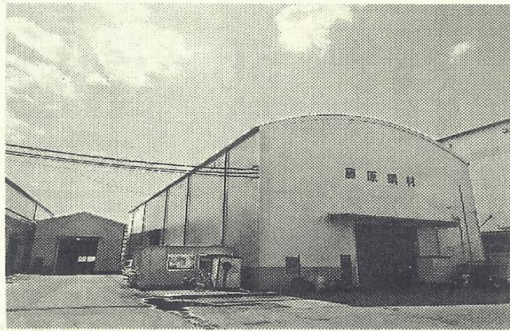


藤原鋼材・座間支店

工場、倉庫棟を耐震補強

「目指せ100年企業 類の在庫販売を手掛ける 傷みが目立ち、建屋の補強・改修が急務となった。へ」を全社スローガン 座間支店の倉庫2棟の耐 ますは厚板溶断加工を 手掛ける座間工場から着手する。2017年5月に着手し、その年の9月に完了。工場建屋の構造年64年を迎えを「新耐震基準」に準拠する。座間支店を「新耐震基準」に準拠し、外壁（神奈川県座間市広野台）の開 壁塗装も施し、見た目も設は68年(昭43) 明るいカラーとした。天8月で、翌年11 井照明も全灯LED化月には支店構内し、構内の作業性と安全性を増している。そして昨年夏場から大倉庫棟、工場 小2棟の倉庫建屋の耐震棟とも81年6月 補強工事にも着手。工場 施工の改正建築 建屋と同様、旧耐震基準法「新耐震基準」の建物なので「新耐震基準」に準拠した構造補強



座間支店の鋼材倉庫2棟

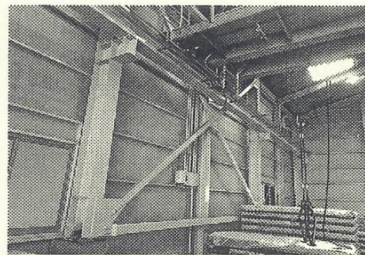
なので強度 面で行い、壁もすべて刷新。面で今の基 外側も同じく明るいトーンで綺麗に塗装し、棟内する必要がある。50年を経て老朽化による

「目指せ100年企業へ！」 明るく、安全・安心な工場に

「BCP」対策

の天井照明も全灯LED 工事秋口までに完

建物構造を補強①と天井照明もLED化



内側の耐震補強は、座間支店ひいては藤原鋼材にとつての重要なBCP（事業継続計画）対策であり「100年企業」実現への一里塚とも言える。今回、全棟とも建屋の診断・実測、構造設計、工事施工をヨシザワ建築構造設計が手掛けた。

併せてトラック出入 施した。見栄えを綺麗にり口は土間コンクリートし、明るい色調にしたの 舗装し、砂利敷きだった は「採用」のためだ。床面フロアには敷鉄板を 最近の中小モノづくり敷くなど作業環境や在庫 現場では新規採用(求人)の 保管体制を改善しつつ が厳しい。それでもせっ がある。支店入口の扉も かく応募して現地まで足 リニューアルした。物を運んだにも関わらず建物の古さを見て帰ってしまつたというケースが実際にあったそうだ。

外壁一新、見栄えよく

座間支店の倉庫棟と工場建屋の耐震補強は「たとえ大規模地震に見舞われても倒壊しない」強度全・安心」なイメージで構造を満たし、構内作業者の安全を最優先に確保しつつ震災によって事業を寸断させないために実 其の意味で外観一新と 多品種・短納期ニーズに 勢を整え「マーケットに 上」し続けていくことも また「100年企業」に に向けたBCPとなる。